



仙石線全線開通

計量みやぎ

2015.8.15

編集発行

仙台市太白区長町7-22-23

(一)宮城県計量協会

TEL 246-2466・FAX 247-1490

www.keiryo.net/

第五十八回 定時総会開催

平成二十七年定時総会は、六月五日「ホテルモントレ仙台」において開催されました。

総会は、千葉副会長が開会を宣し、鍋島会長の挨拶に続いて、計量功労者の表彰に移り、宮城県知事褒賞一名、計量協会長表彰七名、同褒賞六名計十四名の方々がそれぞれ受賞され、受賞者を代表して牧峰夫氏が謝辞を述べ、宮城県知事代理の白鳥成英経済商工観光部産業立地推進課副参事兼課長補佐、渡辺博仙台市議会議員から、表彰者への祝辞を頂き表彰式を終了しました。



第58回定時総会開催



知事褒賞受賞



御来賓の方々

なお、三号議案では、任期満了に伴う理事・監事の役員改選があり、二十六名の新役員が選出されました。(後掲)

議案承認後、事務局から公益目的支出計画の実施、本年度事業・収支予算計画等の報告事項があり、笠原副会長の閉会挨拶で総会は終了しました。

なお、知事から協会への祝辞は、本県の計量文化の向上に努め大きな業績を上げている協会への敬意と、「宮城県震災復興計画」再生期の二年目にあたり、迅速な震災復興、産業経済の安定的な成長、安心して暮らせる宮城、美しく安全な県土の形成を基本とし、復旧を最優先に推進し、創造的な復興に向けての協力依頼があり、結びに当協会の発展と会員のご健勝祈念がありました。

計量功労受賞者

宮城県知事褒賞

牧 峰 夫 氏
日東イシダ(株)

(一社)宮城県計量協会会長表彰

佐 藤 武 志 氏
(株)寺岡システム遠 藤 昭 一 氏
(一財)宮城県公衆衛生協会大 友 輝 彦 氏
(一財)宮城県公衆衛生協会亀 井 勝 敏 氏
(一財)宮城県公衆衛生協会庄 子 亨 氏
日東イシダ(株)本 多 千 恵 子 氏
(株)高 良吉 岡 和 敏 氏
日立オートモティブシステムズ
メジャメント(株)東北支店

(一社)宮城県計量協会会長表彰

加 藤 寿 氏
(二財)宮城県公衆衛生協会二 瓶 聡 氏
(二財)宮城県公衆衛生協会佐 藤 弘 三 氏
(一財)宮城県公衆衛生協会大久保 一 雄 氏
日東イシダ(株)渡 辺 真 由 美 氏
日東イシダ(株)遠 藤 晋 也 氏
北日本環境整備(株)

決議議案等

《第一号議案》

平成二十六年年度事業報告について

平成二十六年年度の会員状況、総会・理事会等の主要会議、計量思想普及啓発事業の計量記念日事業「2014みやぎ計量のひろば」開催、宮城県工業品材料依頼試験受託事業、仙台市指定定期検査機関事業、表彰事業、代検査事業、材料試験機械検査事業、計量管理受託事業、優良事業所視察研修会の開催、中央・地方団体との連携、行政機関との諸会議等について、事務局から説明があり異議無く承認された。

《第二号議案》

平成二十六年決算報告について

事業活動収入

九七、七〇一千元

事業活動支出

九六、五七九千元

以上の事業活動等の決算報告について、事務局から説明があり、監事から事業報告及び決算の監査報告がなされ、異議無く承認された。

《第三号議案》

役員の改選について

本年度は、理事・監事役員の任期満了時期にあたり、役員の改選が行われた。新役員は、事務局より提示された案のとおり異議無く承認された。(新役員後掲)

《報告事項》

①公益目的支出計画実施報告について

一般社団法人移行時に課せられた公益目的支出事業について、平成二十六年(三年目)の実施状況も計画どおり遂行された旨の報告があった。

平成二十六年公益目的支出額

二、三〇四千元

(累計七、四九〇千元)

当該事業年度末日の公益目的財産額

八、六六六千元

(平成三十年度完了予定)

②平成二十七年事業計画について

平成二十七年実施事業計画の概要説明があった。(後掲)

③平成二十七年収支予算について

平成二十七年収支予算につ

いて、次のとおり説明があった。

事業活動収入

九八、五九六千元

事業活動支出

九八、〇九六千元

④計量功労者の表彰について

本年度の知事褒賞・会長表彰・同褒賞受賞者及び(一社)日本計量振興協会会長表彰受賞者の功績紹介があった。

⑤顧問の委嘱について

協会顧問の宮城県計量検定所長の異動に伴い、後任の鈴木荘一郎検定所長に委嘱了承された報告があった。

⑥検査手数料の改定について

平成二十八年度から、代検査手数料が改定実施される旨の報告があった。

⑦平成二十七年 東北・北海道計量大会等日程について

今年度の東北・北海道計量大会は、青森県青森市で開催され、その日程等の紹介があった。(後掲)



(一社)日本計量振興協会会長表彰
(鈴木昇二郎氏)



受賞者の方々

平成二十七年 事業計画

平成二十七年は、東日本大震災の復興の再生とともに、協会事業運営も本県の再生発展のため、計量制度基盤の堅持と正しい計量思想の普及啓発に努めることを根幹に、会員皆様の連携と相互交流のもと、次の諸事業を推進してまいりますので、なお一層のご理解とご支援をお願いいたします。

一 計量普及・啓発事業

● 計量記念日事業

「みやぎ計量のひろば」の開催

● 計量管理優良事業所等の視察研修会開催

● 計量に係る資料の作成配布、情報の提供

● 計量証明事業の主任計量者資格取得のための講習会開催

二 指定定期検査事業

● 仙台市の指定定期検査機関として、仙台市内の特定計量器(質量計)の定期検査を実施

今年度検査対象区域は、青葉区・太白区の約一、五〇〇戸 三、七〇〇台

三 計量器検査事業

● 計量士による検査事業

● 計量行政機関に代わる質量計の定期検査・計量証明事業検査を実施

● 県内約九〇〇戸 二、六〇〇台

● 計量校正事業・材料試験機検査事業

● 計量器標準供給制度に基

づく質量計の校正やコンクリート材料試験機等のJCSS校正を実施

四 官公庁受託事業

● 宮城県産業技術総合センターの工業品材料依頼試験業務の受託

● 仙台市の計量器立入検査補助及び基準分銅管理業務の受託

五 計量管理事業

● 大規模小売店等の、計量士による計量器の検査及び商品量目の適正計量管理指導を実施

● 日本郵政グループの郵便局等の計量管理指導を実施

● 収入証紙売りさばき事業

● 宮城県の収入証紙売さばき機関として、材料試験・計量器検定検査等の申請者へ収入証紙の販売

七 計量行政並びに関係機関諸会議

● (二社)日本計量振興協会諸会議

● 計量記念日全国大会

● 東北・北海道計量大会

事業計画

四 官公庁受託事業

● 宮城県産業技術総合センターの工業品材料依頼試験業務の受託

● 仙台市の計量器立入検査補助及び基準分銅管理業務の受託

五 計量管理事業

● 大規模小売店等の、計量士による計量器の検査及び商品量目の適正計量管理指導を実施

● 日本郵政グループの郵便局等の計量管理指導を実施

● 収入証紙売りさばき事業

● 宮城県の収入証紙売さばき機関として、材料試験・計量器検定検査等の申請者へ収入証紙の販売

七 計量行政並びに関係機関諸会議

● (二社)日本計量振興協会諸会議

● 計量記念日全国大会

● 東北・北海道計量大会

● 東北六県計量士協議会

● 計量士全国大会

● 計量行政、計量技術諸会議等に出席

八 計量情報の提供

● 計量情報・会員情報及び協会活動状況を、ホームページやメール等で効果的に発信。

新 役 員 名 簿

役職名	氏 名	事 業 所 名
会 長	鍋 島 孝 敏	日東インダ(株)
副 会 長	千 葉 信 弘	北日本環境整備(株)
副 会 長	笠 原 秀	計量士
専務理事	草 刈 謙 一	一般社団法人宮城県計量協会
常任理事	加 藤 啓 二	仙台環境科学(株)
常任理事	嶺 岸 優	東北公害保安(株)
常任理事	熱 海 周 一	一般財団法人宮城県公衆衛生協会
常任理事	笠 原 建	(株)藤崎
理 事	鈴 木 昇 二 郎	東陽エンジニア(株)
理 事	安 齋 敏 行	大阪シーリング印刷(株)
理 事	新 井 田 匡 彦	みやぎ生活協同組合
理 事	佐 藤 正 使	一般社団法人宮城県計量協会
理 事	江 刺 茂	(株)寺岡システム

役職名	氏 名	事 業 所 名
理 事	和 田 剛 和	(株)旭商会仙台店
理 事	屋 貝 尚 孝	愛知時計電機(株) 仙台工場
理 事	伊 瀬 知 衛	一般財団法人食品環境検査協会
理 事	高 橋 悟	(株)タツノ 東北支店
理 事	吉 田 洋	アズビル金門(株) 東北支店
理 事	二 階 堂 博	東芝テックソリューションサービス(株)東北支店
理 事	大 竹 保 典	エヌエス環境(株)東北支社
理 事	三 浦 誠	日立オートモティブシステムズメジャメント(株)東北支店
理 事	工 藤 一 広	東北緑化環境保全(株)
理 事	山 田 勝	(株)クボタ計装 東北支店
理 事	坂 井 常 行	(株)田中衡機工業所 東北営業所
監 事	大 湯 澄	大湯商店
監 事	加 藤 昌 宏	仙台ヤマトハカリ(株)



http://www.nikkeishin.or.jp/

九月七日です。詳しくは大会事務局のホームページを参照して下さい。

十一月一日の「計量記念日」にちなみ、小学生を対象に「ものを計ることに興味を抱き、新しい発想を生み出すきっかけにしたい」「何でもはかってみよう」コンテストの募集が今年度もはじまりました。

昨年度は、本県の名取市立那智が丘小学校三年生が優秀賞を受賞し、また、計量啓発標語の部では、仙台市立吉成小学校四年生が佳作を受賞しました。

本年度も、会員各位のお子さんはもちろん、一般の小学生の皆さんの参加応募をお待ちしております。

応募のべ切は九月七日です。詳しくは大会事務局のホームページを参照して下さい。

何でもはかってみよう コンテスト

計量記念日事業

http://www.keiyo.net/

※詳細は協会ホームページをご覧ください。

※講習会参加希望者は当協会へご連絡下さい。

午前十時～午後二時三十分

※講習会参加希望者は当協会へご連絡下さい。

午後二時四十分～午後三時四十五分

主任計量者講習会

(実施機関：二社)宮城県計量協会

平成二十七年十月二十日(火)

主任計量者試験

(実施機関：宮城県計量検定所)

平成二十七年十月二十日(火)

事業主任計量者試験とその資格取得のための講習会日時は左記のとおり行います。

主任計量者試験

(実施機関：宮城県計量検定所)

平成二十七年十月二十日(火)

事業主任計量者試験とその資格取得のための講習会日時は左記のとおり行います。

主任計量者試験

(実施機関：宮城県計量検定所)

新任のご挨拶



宮城県計量検定所長

鈴木 莊一郎

日頃より、本県計量行政の推進につきましてご協力・ご尽力いただきありがとうございます。

四月一日付けで東部県税事務所登米地域事務所から異動しました鈴木です。よろしくお願ひ申し上げます。

商工行政関係には、団体指導検査課、国際経済室付けのソウル事務所に勤務しておりましたが、計量行政は初めてであります。

計量協会は、昭和三十三年に計量法の普及、計量の改善指導、技術の研究及び交流等を目的として創立以来、弊検定所と棟を同じにして、ご協力を頂きながら、計量行政を支えていただいております。ありがとうございます。

計量に関する制度は、貨幣制度と同等に経済・社会活動を行う上で基本的な制度の一つであり、また、計量法は、三文字法で国家の基準となる法律であります。

前身の度量衡法制定以来百年、旧計量法制定後四十年を経た平成四年に新計量法が成立し、国際化、技術革新及び消費者

利益の確保の流れを踏まえ、バリの国際単位系SI単位へと続く計量トレーサビリティ、計量標準供給を保証する次の時代に対応した骨格となる法律に衣替えを行ったと聞いております。

その後、規制緩和の推進と地方の時代における地方公共団体の自立的な責任の下で行う「自治事務」への変遷と併せて、国と地方の新たな関係の一方の担い手として、本県としても専門性や技術力の確保など計量行政の一層の充実が求められております。

これまで、貴協会とともに計量思想の普及や特定計量器の検査等を行い、適正な計量の確保に努めて参りました。今後とも良好な関係の下での適正な計量の維持・確保のための事業の展開が、本県経済の発展・文化の向上及び消費者保護に不可欠と認識しております。

結びに、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念してご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

みんな集まれ「技術のおもちゃ箱」 一般公開

当協会の分室がある宮城県産業技術総合センター（泉区明通）にて、去る七月三日（金）、四日（土）の両日、毎年恒例となりました一般公開が行われました。

この一般公開は、県民（主に小学生）を対象として技術と直にふれあう場を提供し、来場者に産業技術を身近に感じてもらうとともに、当センターの事業内容を広く県民の皆様に紹介してご理解をいただくため開催されているものです。

「工業製品から食品まで」に及ぶセンターの設備・機器を使用した「ものづくり」の楽しさに触れながら、様々な成果物の展示・実演・体験教室（雄勝石のキーホルダー作

り・竜紋塗り体験・竹とんぼ作り等）が催されました。体験教室では宮城県内の伝統工芸を直に体験出来るコーナーや、自動車のエンジンを目の前で組み立て体験出来る「エンジンビルダー」などのコーナーがあり、大勢の人達が長蛇の列を作り参加されていました。

当協会においても二日目の土曜日に「鉄筋破断の驚きの瞬間を体験」と銘打った実演を行いました。

これは普段建築・土木現場などで使用されている材料の鉄筋を引っ張り試験機で実際に引っ張り、どのように、どのように破断するか？破断する際にはどんな音がするか？などを来場された方々に直に体験していただくコーナーです。

体験された方々は担当者の話を真剣に聞き入り、目の前で引っ張られる鉄筋が切れるのを今か今かと耳を



鉄筋破断試験の実演



来年も待っているよ

塞ぎながら待ち、「ドスン！バチーン！」と切れた瞬間には「ワーキヤー」と歓声をあげ、大盛況の内に終わりました。

毎年新しい産業技術とふれあうことが出来ますので、皆さんも来年は是非お越し下さい。

11月1日は計量記念日



社会生活の中にある様々な計量についての基盤を支えているのが計量法で、この計量制度の重要な役割を広く知っていただくため、現在の計量法が施行された平成5年11月1日を「計量記念日」と定め、経済産業省、全国の計量行政機関、計量関係団体は計量思想普及啓発のイベントを開催しております。

今年の本県の記念日事業は、仙台市八木山動物公園で『動物と計量・ふれあいひろば』をテーマとして計量に関心を持っていただくイベントを行いますので、たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。

日 時

平成27年10月31日(土)

10:00~14:00

場 所

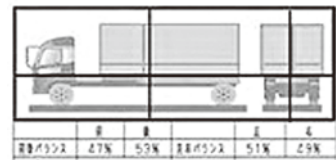
仙台市八木山動物公園

仙台市太白区八木山本町1-43

トラックスケール等の3D計測

国内貨物輸送の九割をトラック輸送が担っている。このトラックの積載重量を計っているのがトラックスケール。計量証明事業会員の方々が質量の証明に使用しております。設置タイプでは地上式、埋込式等様々なものがあります。特に東日本大震災の復興では、瓦礫処理量の計量に、設置が簡単にできる、非埋込込み型が多く使用されました。このトラックスケール、当初は台はかりの大型なものとして、てこの原理を利用したおもりとの釣り合いで計測する機械式でしたが、ロードセルなどの電気技術の採用で大きく変遷し、小型構造にもなり、様々なタイプが出回るようになりました。

近年では、この平面的な質量の計測に加え、トラックの積み荷の偏りや重心位置などの計測もできる立体計測（左右・前後・高さ）という3D計測が安全・安心輸送を目指す国土交通省の、偏加重防止対策という呼びかけもあり注目を帯びて来ております。



計量ニュース

灯油巡回販売の給油量のごまかしに注意！

昨冬の灯油の巡回販売で、給油量のごまかしがあったニュースがネット掲載されました。タンクローリーで巡回し、購入者のポリ容器に灯油を十八リットル入れたふりをして、実際は十七リットルしか入れずに、その差一リットル分（百円相当）を販売員が着服していたということです。

灯油販売の時点で、ポリ容器に入れる給油量を確認することは、寒い冬の外ですから、あまり立ち会わないでしよう。その盲点を突かれた、はかり売りのタンクローリーには、給油使用量の積算カウンタがあるの、会社側でローリーの出入庫時の積算量の差を確認すれば、灯油販売量（缶数）と灯油給油量から違いが分かります。計量管理がしっかりとしないと信用を落とす事になるという例です。

このタンクローリーは、計量法では車載燃料油メーターとして特定計量器に指定され、検定を受けなければなりません。また、経年で給油量が変化するため使用可能な期間（有効期間）も定められており、五年毎に再検定を受けなければなりません。なお、ホームセンターなどで、セルフ給油する灯油販売計量器も同様計量法の特定計量器で、検定を受け、有効期間内の計量器を使用しなければなりません。



宮城県計量協会のあゆみ

宮城県計量協会の前身「日本度量衡協会宮城県支部」が設立（一九一七年）されてから九十八年、『（社）宮城県計量協会』に法人化されたのが一九五八年です。

日本のメートル法統一に活躍した協会の活動を中心に、現在までの宮城県計量協会の足跡を電子版としてまとめ、協会ホームページに掲載しましたので、ぜひ協会のあゆみをたどってみてください。

<http://www.keiryonetv.com>



『健康づくりの計量』冊子の配布

（一社）日本計量機器工業連合会で作成した「はかって、のぼそう、健康寿命」

「計ることからはじめる健康づくり」と健康と計量に係わる、からだの状態を知る血圧計・体脂肪計・体組成計や食生活・運動をサポートする計量器などを、からだの仕組みとともに説明している冊子です。会員の方々の健康管理のために配布しております。



計量行政機関等の
動向

● 古紙回収ポイントシステムの
質量計の定期検査について

(大型スーパーなどの駐車
場に据え付けられており、
消費者が持ち込んだ新聞雑
誌などの古紙の重さを計
り、ポイントに換算し、レジ
で購入商品の割引などにあ
てるシステム等)

平成二十五年度福島県で開
催された第六十二次東北北海
道計量協会連合会総会で、本
県から当該システムで使用す
る質量計の定期検査対象の要
否を問いただした当該案が、
本年経済産業省計量行政室か
ら、検定及び定期検査受検計
量器であるとして、国から
古紙回収関係、計量器製造会
社などに受検の遵守周知文書
が出された。

協会でも今年度から定期検
査・代検査を実施します。
● 中元期の商品量目の立入検査
の実施

宮城県計量検定所並びに仙
台市消費生活センターでは、中
元期にあたりスーパー・百貨店
や食品製造工場などの、商品量
目の適否や計量に使用してい
る計量器が、検査を受けたもの
で正しい使い方をしているか
の立入検査を実施しました。

平成27年度 東北・北海道計量大会等日程

本年度の大会は、リンゴのふるさと青森県青森市で開催されます。
なお、大会に併せて、翌日は本計量協会の視察研修を企画しております。

日 程 表

期 日 平成27年10月8日(木)～9日(金)

会 場 青森県青森市新町1-6-18 『青森国際ホテル』

期 日	時 間	行 事 名
10月8日(木)	11:30 ～ 13:15	受付・昼食
	13:30 ～ 14:30	東北・北海道計量大会
	14:45 ～ 15:30	第64次東北六県北海道 計量協会連合会総会
	16:00 ～ 17:30	ワ・ラッセ見学
	18:30 ～ 20:30	歓迎レセプション 交 流 会
10月9日(金)	9:00 ～ 19:00	朝 食 ※本県協会視察研修会(行程案) ガス・水道メーター製作工場 リンゴ酢製造工場 八甲田山／雪中行軍の地

分銅調整用
マスコンパレーターの
リニューアル

宮城県計量検定所では、平成
二十六年年度末に、大型分銅調整
用のマスコンパレーター(質量
比較器)をリニューアルしまし
た。

最大加重一、一〇〇キログラ
ム、目量〇・
五グラム、
精度二二〇
万分の一の
自動偏置調
整タイプの
製品です。

平成二十七年
優良事業所視察研修会
お知らせ

本年度の優良事業所視察研修
会は、今回の東北・北海道計量大
会は視察研修が織り込まれな
かったため、大会参加と併合企
画し、青森県内の優良事業所を
視察することになりました。

青森県のガス・水道メーター
製造工場と地元国内
産のリンゴで作る酢
の製造工場等視察
に、紅葉まつ盛りの
八甲田山を訪れる予
定です。



仙石線全線開通

(表紙写真説明)

二〇一一年三月十一日に発生
した東日本大震災によって不通
区間になっていた、高城町駅～
陸前小野駅間が本年五月三十日
に、四年ぶりに開通し、復興へ
の大切なライフラ
イン、仙石線の全
線が開通した。

表紙は矢本駅を
後に、スペシャル
カラーリングで走
るマンガ列車。



編集後記

花いちもんめ

昨年の中国四国連絡協議会で会
長表彰を受賞された芦川恒彦氏の
受賞に寄せてで紹介された、度量
衡の話の中に尺貫法で使用された
『寸』という長さの単位が、ケーキ
の大きさを表示する「号」と関係が
あるということに驚きました。

一号＝一寸、一寸は約三センチ
メートル、ケーキの五号は約十五セ
ンチメートルなのです。他にも植木
鉢のサイズや打ち上げ花火の玉の大
きさも同じく「号」で表され、号に
三を掛けたものがセンチメートルの
大きさということでした。

また、質量の『匁(もんめ)』
の話もありました。

匁の起源は一文銭の目方からき
た尺貫法の単位で、度量衡法では
3.75gと規定されておりまし
た。これは現在の孔の空いた五円
玉の重さです。※匁は現行の計量
法では真珠の計量に関してのみ使
用できる単位。

NHKのみんなのうたでも紹介
された日本の童謡『花いちもん
め』、これは売り手と買い手に別れ
て、花一匁(もんめ)を賣う際に値
段をまけて悲しい売り手と、安く
買ってしまう買い手側の様子が歌
われているともされている子供の遊
びのひとつです。子供の頃から貨幣
制度と計量制度の大切さを自然に
謳っていたのでしょうか。
かつてうれい……

